

事務事業名	高部・安国寺地区歴史環境整備事業	事業期間	2015 ~ 2020 年度	係内番号	02
担当部署	都市建設部	都市計画課	公園景観係	連絡先	535

計	政策番号	05	基本計画体系	項目	計画CD	計画名称	施策の柱CD	施策の柱の名称	実行計画の施策の柱における指標との関連度	中					
			基本計画①	01	都市計画マスタープラン	0402	都市環境形成の方針								
			基本計画②	01	都市計画マスタープラン	0402	都市環境形成の方針								
			実行計画	06	景観計画	0000	複数の柱にまたがる事業								
画	予算事業名	高部・安国寺地区歴史環境整備事業費				会計コード	01	款	08	項	04	目	03	事業	03
	事務事業の概要	高部・安国寺地区 130haを社会資本整備総合交付金の都市再生整備計画事業を活用し、歴史景観・自然環境に関連した一体的整備を行います。 この整備により、茅野市景観計画の景観づくりの基本方針である歴史文化景観・環境を保全し、それらと調和した街並みづくりを目指します。													
	現状と背景	現在、高部・安国寺地区は、茅野市景観計画が目指す良好な景観・歴史資源・観光資源を数多く持った魅力的な地域でありながら、整備が不十分であり、有効活用されていない状況です。													
	目的	受益者	地域住民及びこの地を訪れる人々（市民及び観光客）												
L	対象	対象	地域住民及びこの地を訪れる人々（市民及び観光客）												
	的意	図	歴史を感じ、自然と調和した豊かな景観を守り、育てることで、地域住民の暮らしにゆとりと潤いをもたらし、この地を訪れる人々の心を癒す。												
A	手段・方法	高部・安国寺地区 130haを社会資本整備総合交付金の都市再生整備計画事業を活用し、歴史景観・自然環境に関連した一体的整備を行います。													
	評価指標の作成	行政が活動することで作り出すもの	指標名称	単位	算出方法・計算式・目標値設定の考え方など	最終目標値									
N	活動指標	1	現地調査及び整備内容検討	検討部会開催	回	年間の地元検討部会開催回数	5								
		2													
		3													
	変更履歴														
O	成果指標	成果・効果は何？	指標名称	単位	算出方法・計算式・目標値設定の考え方など	最終目標値									
		1	高部・安国寺地区歴史環境整備	整備進捗率	%	整備完了部分/整備予定部分×100	100								
		2													
	変更履歴														

実	施	状	項	目	単位	2018年度(H30)	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	
			事業費等(a)	円	69,023,456	32,150,392	91,921,000				
			財	庫	支出金	円	10,000,000	7,302,000	28,198,000		
			源	県	支出金	円					
			内	地	方	債	円	24,000,000	11,200,000		
	況	指	標	活動指標	検	討	部	会	開	催	
					目	標	回	5	6	12	
					実	績	回	6	9		
				達	成	率	%	120.00	150.00	-	-
				目	標	-					
				実	績	-					
				達	成	率	%	-	-	-	-
				目	標	-					
				実	績	-					
D	成	果	指	整	備	進	捗	率			
				目	標	%	100	100	100		
				実	績	%	69	77			
				達	成	率	%	69.36	77.00	-	
O	備	考	目	標	-						
			実	績	-						
達	成	率	%	-	-	-	-				

事務事業名	高部・安国寺地区歴史環境整備事業		事業期間	2015	～	2020	年度	係内番号	02
担当部署	都市建設部	都市計画課	公園景観係				連絡先	535	

事後評価	項目	2018年度 (H30)	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
	（成変果動指要標因分）析		整備の進捗率については、次年度に大きな工事が予定されているため、最終目標の69%程度となった。	工事の遅れから、事業完了までの進捗率は目標値まで到達できなかった。		
価値	成果	多くの工事を実施したが、部会の開催を予定以上に開催することにより、意見集約ができた。	検討部会については、目標以上に開催できたため、今後の活用についても議論することができた。 また、地元の活動団体を設立することができた。			
	総合評価課題	最終目標値は5年間で事業を完了するための目標値となっている。 事業費ベースで算出しているため、7割程度の実績値となった。	事業費ベースで算出しているため、8割弱程度の実績値となった。			
改革	翌々年度方向性	成果 縮小	休廃止			
	コスト	縮小	皆減			
改善の方向性	改善の方向性の内容	2019年度で整備事業終了による減	2020年度で整備事業終了による減			

作成担当者	柳平 一貴	柳平 一貴			
最終評価責任者	岩崎 研二	岩崎 研二			
最終評価年月日	2019.5.17	2020.7.2			